

(2) 粗大ごみはごみ質により処理の流れが異なります

粗大ごみは、江東区海の森にある粗大ごみ破碎処理施設で処理します。粗大ごみは、可燃系と不燃系に分けた後に破碎します。また、破碎処理後に鉄分を選別し、資源として回収しています。さらに、残さのうち、可燃系のは清掃工場で焼却処理しています。



粗大ごみ破碎処理施設

粗大ごみの処理過程



受入ヤード(可燃系粗大ごみ)



(不燃系粗大ごみ)

木製家具などの可燃系の粗大ごみと、自転車などの不燃系の粗大ごみに選別します。

選別は、区の粗大ごみ中継所と粗大ごみ破碎処理施設の受入ヤードで、手作業で行います。

回転式破碎機(縦軸)の内部



選別作業を終えた粗大ごみを一辺の長さ15cm以下に破碎します。その後、磁選機で鉄分を選別し回収します。



破碎された粗大ごみ



回収した鉄

破碎処理した後の粗大ごみの残さは、可燃系残さは清掃工場で焼却処理し、不燃系残さは埋立処分します。

可燃系残さ

清掃工場で焼却

不燃系残さ

焼却灰・飛灰

焼却灰・飛灰

埋立処分場

資源化施設でセメント原料化・徐冷スラグ化・焼成砂化